

# 一宮市地域強靱化計画の概要

## 一宮市地域強靱化計画について

大規模自然災害等に備えるための施策を総合的な取組として計画的に実施し、強靱な地域づくりを推進するため、国土強靱化基本法 13 条に基づく計画として策定したものの。

### 一宮市の強靱化の基本目標

- 1 市民の生命を最大限守る。
- 2 地域及び社会の重要な機能を維持する。
- 3 市民の財産及び公共施設、産業・経済活動に係る被害をできる限り軽減する。
- 4 迅速な復旧復興を可能とする。

## 計画の位置づけと一宮市の地域特性

国の国土強靱化基本計画や愛知県地域強靱化計画との調和や連携を図るとともに市政の基本方針である第7次一宮市総合計画との整合を図りながら、一宮市地域防災計画等の一宮市における国土強靱化に関する様々な分野の計画等の指針となるものとする。

### ● 一宮市の地域特性

- ▷ 木曾川沖積平野の低地でほぼ平坦である。
- ▷ 多くの河川、準用河川、用排水路がある。
- ▷ 交通利便性の高い尾張西部の中核都市である。

### ● 一宮市に影響を及ぼす大規模自然災害

- ▷ 南海トラフで繰り返し発生する大規模な海溝型地震
- ▷ 活断層で起きる地震
- ▷ 豪雨・台風による被害

## 一宮市の強靱化の現状と課題（脆弱性評価）

### ● 事前に備えるべき目標と起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）の設定

事前に備えるべき目標	リスクシナリオ数
1 直接死を最大限防ぐ	3
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する	6
3 必要不可欠な行政機能は確保する	2
4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する	3
5 経済活動を機能不全に陥らせない	4
6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	6
7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない	5
8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	5

## ● 施策分野（個別施策分野と横断的分野）の設定

国土強靱化基本計画で設定された施策分野をもとに、行政機能／警察・消防等、住宅・地域保全・交通、保健医療・福祉、産業・エネルギー・環境、情報通信、防災教育・文化の6の個別施策分野とリスクコミュニケーション、人材育成、官民連携、老朽化対策、研究開発の5の横断的分野を設定した。

## ● 脆弱性の評価

国・県が実施した評価手法、国土強靱化地域計画策定ガイドラインや一宮市地域防災計画を参考とし、リスクシナリオごとに一宮市における国土強靱化のための施策について整理し、脆弱性の評価を実施した。

## 強靱化施策の推進方針

脆弱性の評価結果に基づき、「事前に備えるべき目標」と「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」を回避するため、強靱化施策の推進方針をまとめた。また、個別施策の達成度等の把握のため、必要に応じリスクシナリオごとに重要業績指標を設定した。

また、上記の推進方針については、個別施策分野ごとと横断的施策分野ごとにもまとめた。

### 強靱化施策の推進方針（例）

目 標	救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する
リスクシナリオ	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足
施 策	地域防災力・企業防災力の向上
業 績 指 標	自主防災会の結成率：98.2%（2019）→100%（2022）

## 計画推進の方策

- 強靱化に向けた取組は、市長を会長とする「一宮市地域強靱化計画推進会議」を中心とした全庁横断的な組織により推進する。
- 市だけではなく、国、県、関係団体、民間事業者、市民等と連携・協力し強靱化を推進することが重要であるため、平時から関係構築を行い効果的な施策の実施に努める。

## ● 計画の進捗管理

- ▷ 事業の進捗状況を把握し、総合計画等の事業評価（進捗管理）とも連携するとともに近年の自然災害や国・県の計画の見直し状況を確認する。
- ▷ 関連事業の進捗状況や各種取組結果、重要業績指標等を踏まえ、所管課が中心となり、取組の見直しや改善等を行いながら事業を推進する。
- ▷ 社会情勢の変化、国や県等の動向や市での進捗状況等を考慮し、必要に応じて見直す。
- ▷ 国土強靱化に関係する一宮市の他の計画については、一宮市地域強靱化計画の見直しに合わせて検討を行い、双方の整合を図る。